

チェンライ日本人会 会報

N0166

2022年2月号

チェンライ領事出張 サービスのお知らせ

●日時

2022年2月12日(土)

08:30~12:00

13:30~15:30

●場所 WIANG INN HOTEL
CHIANGRAI Chiang-Saen Room

●各種証明書の申請など

日本人会【相談窓口】を開
設します。
同じ会場で10時~13時
まで、相談をお受けします。
会へのご意見や、個人的な相
談事などが有りましたら気軽
にお越しください!また、新
規入会もお受けします。

新型コロナウイルスが発生してから約二年になりますが、いっこうに収束
しません。今までよりも増加しています。
感染予防のために、マスクの着用、手の消毒、三密（密集・密接・密閉）
の回避、人流の抑制、黙食、多人数での飲酒の禁止などいろいろと行っ
ています。
また、特効薬として期待されたワクチン接種を推し進め、一旦明るい兆し
が見えたかに感じたが、また、新しいオミクロン株のコロナウイルスが流
行し私達の日常生活は不安と我慢の連続です。
このような生活が長引くとストレスが溜まって病気になるそうです。
特に、現在流行しているオミクロン株は感染しても軽症で済むと言われて
いますがものすごい勢いで多くの人に感染しているとも言われています。
幸いにして今日まで、会員の中からは一人も感染された方はいません。
あと、もう少しの踏ん張りだと思えますので、皆様方に置かれましては引
き続き万全を期してお過ごしください。よろしくお願いいたします。
チェンライ日本人会会長 小杉 誠輝

2月の CALENDAR (日本) 11日建国記念日 23日天皇誕生日 (タイ) 16日万仏祭

2022 2 February						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					



当初1月16日（日）の予定が雨天のため延期になり23日（日）にハッピーシティーGCで開催しました。

8時スタートということで霧の中でのプレーでした。参加者7名と少なかったのですが、優勝は檜山さんでした。

次回は、2月20日（日）メーコックGCでの開催予定です。ご参加をお待ちしています。



北部地区雑談会

1月23日

巽谷会員宅で



2月誕生日の会員

誕生日おめでとうございます

5日渡邊薫さん 9日森泰輔さん 19日内藤進さん 20日池松正敏さん

23日窪寺健太郎さん Happy birthday สุขสันต์วันเกิด

Happy birthday สุขสันต์วันเกิด Happy birthday

山岳民族を訪ねてー①

タイに住む山岳少数民族は約 144 万人とされています。（2016 年のタイ政府統計より）うち Karen 族が約 55 万人、Lahu 族が約 12 万人、Akha 族が約 9 万人、Lisu 族が約 4 万人などです。

Karen 族は、ビルマからの避難民であり、今でもミャンマーには Karen 族が沢山います。中でも、Paraw、別名首長 Karen 族の女性は首に真鍮の首飾りをつけて、首を長く見えるようにしています。Lahu 族は別名『ムソー』と呼ばれ、狩人の意味があり、50 以上のグループに分けられています。Akha 族の村には、鳥居のようなものがあります。良い精霊を村の中に入れ、悪い精霊を村の外に出す役割があるそうです。

Yao 族は中国南部から来た民族で、タイに約 4 万 5000 人いるといわれています。容貌は中国人に似ており、使用する言語も中国語に似ているそうです。政府によりオピウム栽培が禁止されてからは、Yao 族は綿花やトウモロコシの栽培、家畜生産を行っています。

山岳民族の殆どは 100～150 年前から、中国南部やチベットから移住してきた子孫です。また、近年ではミャンマーから移って来た人もいます。そして、殆どの人がタイ北部に住んでいます。

かつて、彼らは伝統的な焼畑農業を行って半遊牧民的生活を送っていました。また、換金作物であるオピウム（麻薬であるケシ）栽培を行っていました。

しかし、現在はタイ政府によって焼き畑農業もオピウム栽培も禁止されています。

そのため、観光業や商品作物栽培によって、生計を成り立たせています。

この度、ドイメーサロン近くに有る Akha 族の村を訪ねました。

コロナ禍の影響で約 2 年ぶりに行きましたが山々は殆どが開墾されていて、収穫が終わったトウモロコシの茎がそのまま放置され立ち枯れて山肌が黄色く見えます。

また、所々にみかん畑がチラホラと点在していて、路端で売られています。枯れ草を燃やしているのだろうか煙が立ち登っている畑もあります。1 月中旬でしたが道端の桜が満開に咲いています。

ドイメーサロンのメイン通りから約 3 Km 奥へ入って行くと山肌にコーヒーの木が植えられています。今が収穫時期なのだろうか数十人の労働者がコーヒー豆を摘み取っています。そして近くには大きな家が立ち並び、軒先にコーヒー豆を広げて乾燥していました。

数年前までは竹と藁葺き屋根でできた家がほとんどだったのが現在はコンクリートと瓦葺きの屋根の立派な家が立ち並んでいる。俗に言う『コーヒー御殿』である。



夢に向かって



昨年話題になった二人の日本人がいます。一人は昨年12月8日からロシアのISS（宇宙ステーション）に滞在し、12日間の宇宙滞在を無事に果たした前澤友作氏（46歳）です。

彼は、1998年に輸入CD・レコードの通信販売を目的に、「有限会社スタート・トゥデイ」を設立、その後ファッションショッピングサイト「ZOZOTOWN（ゾゾタウン）」の運営を開始、社名を「ZOZO」（2012年には東京証券取引所市場第一部に上場）に改名して、今日までいろいろな会社と合併また吸収して成功した実業家です。

前澤氏については、「お金をバラ撒くおじさん」とか、いろいろと批判が有りますが、一方では1998年には東北地方太平洋沖地震災害支援として3億円を復興支援団体へ寄付したり、新型コロナウイルスの影響で厳しい経営状況が続く中小企業への支援として100団体にそれぞれ100万円ずつ（総額1億円）のお年玉をプレゼントするなどいろんなところに寄付をしています。彼は、こんなことを言っています。「私は世界平和が目的なのです、有効に使われるお金ならどのような人にも差し上げます」、それはすべて彼の夢である「世界平和」のためなのです。

確かに、宇宙旅行に200億円（2人分）、スーパーカー数台、750坪の豪邸、プライベートジェットなど日本で富豪番付23番目と言われる彼にとっては微々たる金額かもしれませんが一般人から見たら夢のような話です。そして、2023年の月旅行には8人を招待するなどどえらい計画をしています。それもこれも「平和」のためだそうです。

彼はまたこんな事も言っています。「理由は2つ、一つは僕みたいにお金に恵まれた、たまたまお金持ちになった人はもっと社会に還元すべきだと思っています。もっと貢献すべきだと思っていて、その最たる方法が寄付だと思っている。なのでずっとお金贈りという名の寄付を続けていきたい」。

もう一人は、大リーグ4年目の大谷翔平氏（27）です。投打の二刀流で輝かしい活躍をして、日本人でイチローに次いで二人目のMVPに選ばれましたが、彼はインタビューの中で、「自分はこれで終わりではないと思います。もっとこの先を目指して頑張りたい」と言っていました。

諦めないで努力し続ければ誰でも夢を実現することができる、次の夢に向かってさらなる挑戦をしようではないか。



読書のススメ

私が本を読むきっかけになったのは30歳代のときです。あるテレビドラマを見てからです。

そのドラマのあらすじは、“単身赴任した所で、二十歳以上も年下の女子大生と美しくロマンに満ちた夜の街で二人は激しく燃え、やがて別れの時を迎える恋物語”です。私は、このドラマを見た後にもう一度見たいと思いましたが、当時はYoutubeも録画ビデオも無かったので本屋さんで単行本を買って読みました。テレビで見たときとは別の感動が有り、その時から読書に嵌ったと言うか、渡辺淳一の本をたくさん読みました。その他には、松本清張、司馬遼太郎、水上勉、海音寺潮五郎、村上春樹など主に歴史物や恋愛小説を読みました。

読書には、人間の感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにして人生をより深く生きる力を身につける上で欠かせないと言われていますが、私にとっては何一つ役に経っていませんが、本を読んでいる時は楽しかったです。そして、本を読んだ後で、主人公が住んで居た場所や物語に出てくる土地を訪れて旅行しました。北海道や京都、山陰、四国など本を片手に持ってバスや列車で行きました。

昨年、4月に亡くなられた立花隆氏（80歳没）はジャーナリストでノンフィクション作家でニックネームが「知の巨人」と言われて、彼の読書は雑誌から哲学書まで有りあらゆるジャンルの本を読んでいた、実に生涯3万冊読んだそうです。著書に「田中角栄研究—その人脈と金脈」は、時の最高権力者を退陣に追い込んだ本として余りにも有名ですが、その他にもたくさんの著書があります。これらの著書は彼が読書から得た知識が基になっていたようです。

本をたくさん読むと頭が良くなるとか、偉くなれると世間では言われていますが、徳川家康やビル・ゲイツなどは読書家として知られていますが、実は手塚治氏や明石家さんまさんも読書家だそうです。私の場合は読書とは言わず、単なる暇つぶしと格好付けるための物でした。

現代社会は、社会環境や生活様式の変化で読書離れが進んでいると言われていますが、わざわざ図書館へ行って本を読まなくても、インターネットで分からないことはいくらでも調べることができるし、読書でなくてもテレビや映画、Youtubeなどで楽しめます。そして、最近では誰でもがネットを使って、自分の考えや意見を表現できる時代になって、簡単に私小説などを書くことができるし、本屋さんや図書館へ行って「本」を手にとって読む必要もなく、いつでもどこでも活字を読むことができます。

読むことによって、脳の活性化が高まるとか想像力が磨かれるなどの効果があると言われますが、一番の利益は知識が増えるということですが、だからと言って偉くも、幸せにも金持ちにもなれませんが、たまには読書しては如何でしょうか？

日常生活では感じなかった何かがあると思います。 こすぎ

コロナ禍の影響で巣ごもりの人が増えています。そのことが理由かどうか分かりませんが、最近、家の中に観葉植物を飾る人が増えてきています。

近くのお花屋さんへ行くと、結構若い人が買いにきています。

観葉植物といえば、代表的な物で、ポトス・ゴムの木・シダ類・サボテンなどがありますが、最近人気があるのが『**アンスリウム**』という植物があります。

原産地は南米で、最盛開花時期は夏ですが、咲いている期間が長いので通年観ることができます。

色は白、赤、ピンク、緑、紫、茶、複色など多くありますが、特に赤色が人気あります。花言葉は、「煩惱」とか「情熱」を意味します。ハワイでは、バレンタインデーに贈る花として人気があります。日本の人気アイドルグループで「アンスリウム」という。J-POPアイドルがいます。また、タイの映画で「クーカム」と云って、日本の将校とタイの将校の娘との悲しいラブストーリーが有りましたが、そのヒロインの名前は「アンスマリン」と言いました。

花の名前と関係があるかどうかは分かりませんが、食卓や寝室に飾ると華やかな雰囲気がします。

